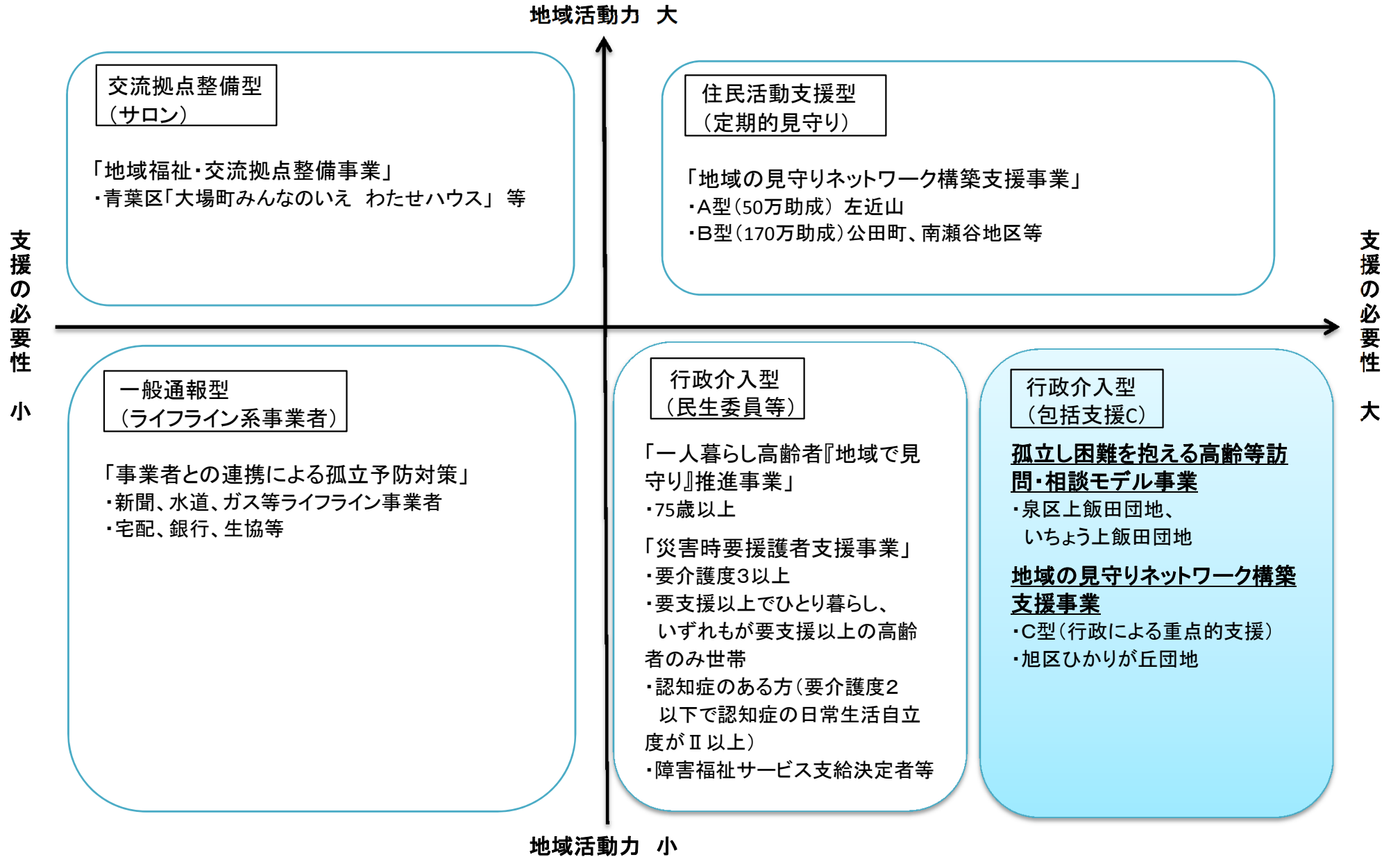
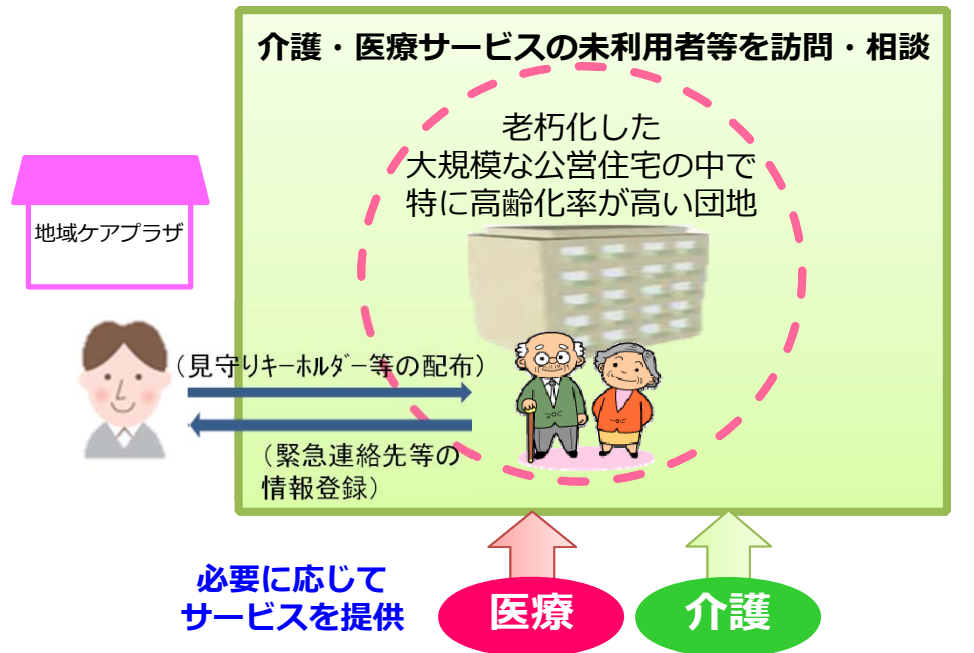


横浜市の見守り事業の概要



「孤立し困難を抱える高齢者等訪問・相談モデル事業」の概要

- 社会や地域から孤立し自立した生活を送ることが困難な低所得高齢者等(医療・介護の未利用者等)を対象に、地域ケアプラザ(地域包括支援センター)の職員が訪問、相談援助等を行い、必要に応じて医療・介護サービスや生活支援サービスに結び付けることにより、高齢者が住み慣れた地域において継続的に安心して暮らせるような体制を確保する。
- 併せて、本市高齢者施設・住まいの相談センター検討事業と連携し、高齢者の居住支援も行う。
- モデル事業 泉区上飯田団地、いちょう上飯田団地 @500万円
国庫補助10/10(厚生労働省「低所得高齢者等住まい・生活支援事業」)



＜泉区上飯田団地の概況＞

- 築47年 ○ 1,406戸
- 入居者数 2,059人(H22)
- 高齢化率 50.9%(H22)

＜泉区いちょう上飯田団地の概況＞

- 築43年 ○ 2,238戸
- 入居者数 4,678人(H22)
- 高齢化率 28.9%(H22)

取組内容	<p>＜対象者を抽出し、個別フォローを実施＞</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 介護・医療の情報から対象者データを抽出 ② 地域包括支援センター職員等による訪問、相談等の実施 ③ 見守りキーホルダー等の配布、見守り情報(緊急連絡先等)を地域ケアプラザに登録 ④ 必要に応じて公的サービス等に結び付け、その後のフォローも検討 ⑤ 当該地区における高齢者の住まいの入居支援
対象者	<ol style="list-style-type: none"> ① 75歳以上高齢者のいる低所得世帯で、介護保険サービスの未利用者及び医療機関未受診者(生保受給者を除く) ・ 行政が把握しているケースで、特に見守り等が必要な者 ② 40歳以上の障害者世帯などで、公的福祉サービス未利用者 ③ 必要に応じて①の対象者の年齢を65歳以上までに拡大